UAゼンセン
IKI・IKI 活き・生き ライフクラブ

会報　第6号
2024年（令和6年）1月1日（月）

UAゼンセン
IKI・IKIライフクラブ
発行人　田村 雅宣
編集人　斗内 利夫
ホームページ

UAゼンセンIKI・IKIライフクラブ ●発行所　東京都千代田区九段南4-8-16 ●TEL：03-3288-3598 ●FAX：03-3288-7174

謹賀新年
「集う」「楽しむ」「参画する」を積極推進へ！

〝つながり〟を大切に活動の改善へ
かけがえのないものとして積極的参加を

IKI・IKIライフクラブ
会　長
田村　雅宣

将来見つめた政策求めよう

2024年が皆様とご家族にとって平和で穏やかな年となることをお祈りいたします。

私たちの周辺では異常気象による大雨、浸水、停滞する台風被害など自然災害が頻発しています。被災された方々にお見舞い申し上げます。地球温暖化への対策など世界規模での取り組みが求められています。私たちも防災の備えを十分にしなければなりません。

国際的にはロシアのウクライナ侵攻は終息が見えず、パレスチナへのイスラエルの軍事侵攻、米中の対立、中国の軍事力・経済力を背景にした横暴、北朝鮮の妄想など平和を脅かす専制国家への国際的な取り組の実効性を求めたいと思います。グローバルサウスなど新しい勢力も出ました。自分たちの文化の押し付けでなく、相手を認め、共存できる多様性の世界へと変わっていくと思います。

生活ではウクライナ問題なども契機に物価高が止まりません。若干の年金増額はありましたが、年金生活者には厳しい状況です。足元だけでなく将来を見据えた政策を求めたいと思います。

一人にしない繋がる活動へ

会員からの課題提起があります。現在提供しているサービスの使い勝手が悪い。地方での利用場所が少ない、サービス内容がよく見えないなどです。事務局にも努力を頂き、少しずつ改善がはかられています。IKI・IKIライフクラブはUAゼンセンの活動の一部として、産別運動に参加した組合員を一人にしない、繋がっていることを大切に「かけがえのないもの」として活動を継承しました。皆様の声を聴き改善をはかります。

会員拡大活動では退職者の参加が進んでいません。現役の参加者が増えていますが、退職後もこの方々が留まり、活動に参加してもらえることを進めたいと思います。基本は退職者の活動の組織ですので、引き続き、その方々の参加を求めていかなければなりません。

新型コロナ禍2年半は交流ができませんでした。都道府県支部での諸活動を新型コロナ前の活動へ復活をお願いします。IKI・IKIライフクラブとして「集う」「楽しむ」「参画する」を進めたいと思います。昔に戻るのでなく工夫をしながら活性化をはかりたいと思います。

前年度は全国規模でボウリング大会を開催してもらいました。突然だったので、地方での戸惑いや意見もありました。活動を進めていただいた都道府県支部に感謝を申し上げます。

田村まみさん支援の準備進めて

日本の政治は臨時国会が始まりました。不人気の岸田総理の都合でいつ解散があるかもわかりません。その時にもしっかり力が発揮できるようサポートしたいと思います。次の参議院選挙での擁立を決めた「田村まみ」さん支援の準備も進めていきます。

組合員生活守る観点で取り組み
「田村まみ」支援を大いに期待します

UAゼンセン
会　長
松浦　昭彦

日常取り戻し楽しむ活動を

あけましておめでとうございます。

IKI・IKIライフクラブ会員の皆様には、日頃からUAゼンセンの運動に大変ご理解・ご協力を頂き、厚く感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナが5月に感染症法上の2類相当から5類に変更され、労組の活動も徐々にコロナ前の日常を取り戻す一年となりました。IKI・IKIライフクラブにおいても、各都道府県支部で集合参加型の活動を再開し始めたことと思います。

「生涯つながる」IKI・IKIライフクラブの趣旨に則り、新型コロナやインフルエンザの感染には十分ご留意を頂きつつ、多くの方々がお互い顔を合わせて楽しめる、そんな活動を進めて頂ければ幸いです。

現在、世界的な経済活動の急回復や為替変動、ロシアのウクライナ侵略の影響などにより、物価上昇が継続しています。こうした状況下でUAゼンセンは、組合員の生活を守る観点、人への投資を重視する観点から昨年以上の賃上げをめざし、2024労働条件闘争方針案を策定しています。現役世代の賃上げは、年金水準の改善に反映されるものでもあり、なにとぞ皆様のご理解・ご支援をよろしくお願いします。

「田村まみ」の再選めざし大きな支援を！

また、皆様ご存じのとおり、UAゼンセンは昨年9月の定期大会において、2025年7月施行の参議院比例代表選挙に現職の「田村まみ」を擁立し、再選をめざすことを決定しました。現在の政治情勢からは大変厳しい闘いとなる事が想定されます。IKI・IKIライフクラブ会員の皆様にも一定の時期を見定めて「田村まみ」支援のお願いをさせていただくことになろうかと思います。ご家族・ご友人への働きかけを含め皆様の絶大なるご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年一年が大きな災害のない年となりますよう念願するとともに、IKI・IKIライフクラブ活動の更なる前進、皆様とご家族の益々のご健勝・ご活躍を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

会員の皆さんの〝声〟を支えに
よりよい未来を築くため全力つくします！

UAゼンセン政治顧問
参議院議員
田村　まみ

新年あけましておめでとうございます。

昨年もIKI・IKIライフクラブ会員の皆さま、ご家族の皆さまには私の活動への深いご理解と多大なるご支援を頂き、心より感謝を申し上げます。

昨年9月、UAゼンセン第12回定期大会において第27回参議院議員選挙（比例代表）の組織内候補として擁立の決議をいただきました。

初当選前から取り組んで参りましたカスタマーハラスメント問題、喫緊の課題でもある燃料高騰、物価高への対策、継続性のある年金への対応、この4年間の私の国会活動の原点には、つねに組合員の皆さんの〝声〟がありました。残りの2年間の任期も、目の前にある課題を『すべて解決する』という強い思いで頑張っていく所存です。

これまで同様、3人の組織内国会議員が三本の矢のとなって先輩方のご意思を引き継ぎ、「生活者の声」、「地域の声」を国政に届けていくと共に、これに昨年の統一地方選挙において、皆さまの大きなご支援の下に当選を果たした、自治体議員の皆さんを加え、一丸となって政策実現の取組みをはかって参ります。

「働く仲間の笑顔のために」、先輩方と行動を共にし〝より良い未来〟を築いていくため、本年も国政の場でしっかりと皆さまからいただいた声を届けて参る所存です。引き続きのご支援とご指導を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

UAゼンセン政治顧問
参議院議員
かわい　たかのり

あけましておめでとうございます。

IKI・IKIライフクラブの皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また日頃より皆さまの絶大なるご支援により、国政の場で活動させていただいておりますこと心よりお礼申し上げます。

御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は5類移行され経済回復に期待が寄せられる一方、ロシアによるウクライナ侵攻、中東情勢の不安定化、過度な円安により原燃油をはじめとする物価高騰で、国民生活や企業活動に大きな負担を強いる状況が続いています。

国民に直接届く政策の提言へ
生活者・働く者の立場で実現目ざす

国民民主党は昨年10月に持続的な賃上げの実現と物価高から国民の暮らしを守るため「国民に直接届く」緊急経済対策を策定してガソリン・電気・ガスなどのエネルギー補助金の延長、賃上げ減税の拡充、所得税減税や消費税減税などを政府に提言してまいりました。

本年も「生活者」「納税者」「消費者」「働く者」の立場に立ち、全世代の皆さまの可処分所得を増やし生活を向上させるため実効性ある政策を先手先手で政府に提言し実現に向けて取り組んでまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年がIKI・IKIライフクラブの皆さまにとりまして幸多き1年となりますことをご祈念申し上げまして新年のご挨拶といたします。

UAゼンセン政治顧問
参議院議員
堂込　まきこ

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、IKI・IKIライフクラブの皆さま、ご家族の皆さまはじめ、多くの皆さまに深いご理解と多大なるご支援を賜り、あらためて心より感謝と御礼を申し上げます。国会議員として新しい年の活動のスタートを切るにあたり、重い責任をしっかりと胸に刻み、初心を忘れることなく邁進する所存です。

初心忘れることなく邁進
安心して働き続ける社会に向けて

経済の基調は緩やかに回復とは言われますが、賃金の上昇が十分に実現していない中での物価の上昇は、国民生活に大きな打撃を与えており、着実な賃金引上げにつながる支援策を充実させていく必要があります。

働く意欲のある人が、それぞれの生活に合わせて、希望する働き方を公平に選択できる社会、安心して暮らし、働き続けることができる社会をつくることは政治のやるべきことです。所属する財政金融委員会等において、引き続き生活者・働く者の視点で政府を質していく所存です。

本年もかわい議員、田村議員とともに、山積する課題に取り組み、皆さまと手を携えて、雇用をしっかりと守りながら、働く仲間と暮らし、そして地域を笑顔にすべく、精一杯努めてまいります。そして、2025年に行われる第27回参議院議員選挙での、田村まみ組織内候補の必勝に向けて私も全力を尽くしてまいります。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。本年もご指導、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

持続可能な組織へ

課題整理や効率化にも取り組み

2024年度重点活動計画

第４回全国代表者会議　支部活動底上げし会員が参加しやすい「場」めざす

現職会員が退職しても加入し続けられる体制作りへ！

全国から46名の代議員が出席し、2024年度活動計画、第27回参議院議員選挙（比例代表）組織内候補者への総力支援アピールなどの各議案をすべて決定した第４回全国代表者会議

２０２０年にＩＫＩ・ＩＫＩライフクラブを結成以来、新型コロナウイルス蔓延のため、本部・都道府県支部における活動の自粛が求められていましたが、９月12日、全国から代議員46名が出席し、第４回全国代表者会議を池之端・東天紅本店で開催しました。代表者会議では、「集う」「楽しむ」「参画する」諸活動の推進を柱とする、２０２４年度活動計画など各議案を満場一致で決定しました。

代表者会議の冒頭あいさつで田村雅宣ＩＫＩ・ＩＫＩライフクラブ会長は、この一年間に亡くなった９８４名の会員への弔意を述べ、参加者全員で黙とうを捧げました。

また、ＵＡゼンセン10周年を節目に開催した全国ボウリング大会で、各都道府県支部の積極的な取り組みと東京・後楽園シティボウリング場で開催された決勝戦でのブロック代表者の皆さんの熱戦展開に敬意を示し感謝を述べました。

会員の生活への貢献へ努力する

一年間の活動の中での会員拡大については、会員数が約４万３千人へと倍増したことを喜ぶとしながらも、ＯＢ・ＯＧの加入停滞を憂い拡大への取り組みを強調しました。さらに、諸活動の展開について「都道府県支部での諸活動がコロナ前の従来の活動に戻りつつあることを踏まえ、大勢を集め行うことは大事だが、皆さんが参加しやすい地域で小さな活動を広げることも発想してほしい」と訴えました。最後に、「ＩＫＩ・ＩＫＩライフクラブの活動がＵＡゼンセン運動に貢献し、それぞれ会員の生活に貢献できるよう努力していきたい」と締めくくりました。

ＩＫＩ・ＩＫＩライフクラブはかけがえなき組織

来賓として挨拶を述べたＵＡゼンセン松浦明彦会長は、「会員と現役が連携し活動の中心を担っていること、春の統一地方選での支援・活動への感謝」を述べるとともに、「かけがえのない組織としてのＩＫＩ・ＩＫＩライフクラブ会員拡大への尽力」を訴えました。

２０２４年度重点活動計画

代表者会議では、２０２３年度一般活動計画、同会計報告を承認した後、第１号議案「２０２４年度活動計画」、第２号議案「２０２４年度予算」が提案され、これを満場の挙手で採択しました。さらに、ＵＡゼンセン第12回大会で２０２５年に施行される参議院議員選挙（比例代表）に擁立される「田村まみ」参議院議員への総力支援アピール（案）で「前回以上の票数獲得に向け、組織力、政治活動力を強化し、多くの会員、家族、友人等の参加・参画による取り組みを、本会議以降本格的にスタートさせる」とする取り組みを採択しました。

決定された持続可能な組織とすべく諸課題への取り組みを掲げた２０２４年度活動計画（要旨）は以下の通りです。

一　会員数の拡大と定着（退職しても加入し続けてもらえる体制＜生涯ネットワーク＞の構築）

二　運営体制の整備（持続可能な組織としての事業基盤、財政面の運営体制、事務作業効率化やアウトソーシング見直し、会費納入の在り方の検討など）

三　福利厚生サービス事業の充実（利用者を増やすための方策の実行やさらなるサービスの充実）

四　都道府県支部活動の活性化に対する支援（実情に応じた支部活動の底上げ・活性化、高齢者が活動できる場の提供を通じ、政策実現を基盤としたＵＡゼンセン社会運動の一端を担う）

スムーズな議事進行

第４回全国代表者会の議長に白畑太展茨木県支部代表（旭化成・境）が選出され、円滑かつ的確な議事進行を行っていただきました。

質問・意見・要望

ボウリング大会を決めた経過と総括は

土居　康記　広島県支部

全国ボウリング大会は本当に盛り上がったのかどうか。ボウリング大会の開催にあたっては、現場の意見を聞いたのか。本部の押し付けの運動になってはいたのではないかと危惧している。

クラブの案内・加入チラシを作り配布を

浅田　剛　青森県支部

運動が常に続くようにするということを念頭に、お互い話し合いながら物事を進めることで運動の広がりを持つと思う。決めた経過と、終了後の総括を聞きたい。

「旧友の会」の会員が毎年千名近くが退会していて、あと20年ほどでゼロになってしまうという危機感を持ちます。

新たな入会者が70名程度にとどまっている中で、一括加盟組合の定年で退会した方へアプローチをしていきたいとのことですが、加盟していない組合も多々あるので、ＩＫＩ・ＩＫＩライフクラブの案内・加入チラシなどを作り、加盟組合を通じて間もなく定年で退職する組合員に渡してもらうなりの算段が必要と思います。

ブロック会議に本部からの出席を要請

土居　康記　広島県支部

中国ブロックの集まりが広島であり、皆さんから貴重な意見がたくさん出ましたが、残念ながら本部からの出席はありませんでした。

参加者はＵＡゼンセン運動に近い人たちばかりでして、本部役員の役員との意見交換が大変重要と考えます。８ブロックの会議ですので、必ず本部役員が出席をしていただくよう要望します。

優勝者は

武藤照子さん　倉庫精練労組（石川県支部）

全国ボウリング大会決勝戦

応援ヒート　熱戦相次ぎ　混戦模様に！

「支部ボウリング大会」に参加した294名の代表として、８ブロックから15名が熱戦を繰り広げた「全国ボウリング大会」決勝戦

ＵＡゼンセン結成10周年記念行事の一環として開催されたＩＫＩ・ＩＫＩライフクラブの「全国統一ボウリング大会」が、８月31日、各ブロックの上位２名計15名が参加し、東京ドームシティボウリング場で開催されました。

各ブロックからの決勝トーナメント参加者は、昨年12月から36の都道府県支部で開催された「支部ボウリング大会」に参加した294名の代表として、熱のこもった戦いを繰り広げ、応援に来られた家族や仲間たちの声援を受けて、勝負は最後の最後までもつれる混戦となり、大いに盛り上がった大会となりました。

栄えある入賞者の皆さん

優　勝　武藤　照子さん

準優勝　岩沢　伸彦さん

３位　園田　守さん

５位　門原　博子さん

10位　田尻　富子さん

BB賞　西堀　正さん

ゲーム終了後、会場を「後楽園飯店」に移し、熱く戦った仲間たちとゲームを振り返り、お互いのプレーを讃え合うなど交歓を行う中、２ゲーム合計の結果発表が行われ、ＢＢ賞、10位、５位、３位、準優勝、優勝者の順で氏名発表が行われ、それぞれ喜びの思いを表明しました。

なお、ブロック代表15名中、３名の女性代表が出場しましたが、３名とも並み居る男性代表たちを上回る成績でしっかり入賞を果たされました。また、全国での参加者の平均年齢は72歳で、お元気な姿に感銘を受けました。

決勝戦　成績表

順　位	ブロック	都道府県支部	氏　名	出身組合	1	2	HCCP	トータル
優　勝	北　陸	石　川	武藤　照子	倉庫精練労組	167	198	40	405
準優勝	近　畿	滋　賀	岩沢　伸彦	東レ労組瀬田支部	170	202	30	402
３　位	九　州	福　岡	園田　守	ベスト電器労組	208	144	40	392
４　位	関　東	埼　玉	久保　健一	サイボー労組	196	154	30	380
５　位	中　国	鳥　取	門原　博子	グンゼ労組倉吉支部	124	161	50	335
６　位	北海道･東北	北海道	森　澄男	ＵＡゼンセン	127	176	30	333
７　位	北　陸	新　潟	樋口真作児	三陽工業労組	141	168	20	329
８　位	四　国	徳　島	谷木　隆	日清紡労組吉野川支部	122	154	30	306
９　位	中　国	鳥　取	山部　秀樹	グンゼ労組倉吉支部	131	142	30	303
10　位	関　東	埼　玉	田尻　富子	太陽毛織労組	129	130	40	299
11　位	近　畿	大　阪	中山　雅夫	上新電機労組	120	138	30	288
12　位	東　海	愛　知	福重　元博	東レ労組愛知支部	106	143	30	279
13　位	北海道･東北	秋　田	伊藤　隆雄	秋田プライウッド労組	104	123	30	257
ＢＢ賞	九　州	福　岡	西福　正	ダイエーユニオン	93	110	30	233
15　位	東　海	三　重	白畑　邦男	東洋紡労組三重支部	94	107	30	231

「田村まみ」が政治の場で課題の解決を目ざします！

働く「仲間」の「笑顔」のための優しい社会実現へ

わたしたちの参議院議員 田村まみ 働く「仲間」の「笑顔」のために

労働者・納税者・生活者の代表として

厚生労働委員会・予算委員会・議院運営委員会で質疑

仕事と家庭を両立できる「安心社会」実現に向けて

UAゼンセン第12回定期大会で第27回参議院議員選挙（比例代表）の組織内候補として擁立決議された「田村まみ」参議院議員は、カスタマーハラスメント対策の充実や「年収の壁」問題の解消、薬価や介護・診療報酬の適正な改定問題、女性の健康サポートなど、私たちの生活に関する課題解決に全力で取り組んでいます。今号では、様々な課題解決に向けた田村議員の国会での取り組みを紹介します。

年収の壁の撤廃に向けゴールを示せ

全国の559万人もの労働者が、年収を一定以内に抑えるための就業調整、「年収の壁」に直面しています。

原因は、①企業の配偶者手当の収入要件による103万円の壁、②社会保険料が発生する106万円・130万円の壁、③配偶者特別控除が満額受けられなくなる150万円の壁です。

年収の壁を解消するには、社会保険適用拡大の企業規模要件の撤廃です。政府はあくまで3号被保険者制度の見直を、一時的な移行措置として対処していきます。この年収の壁の撤廃に向けた制度改革の年限を区切りゴールを示すべきと質しました。

実態と制度の乖離解決急げ

生活に困難を抱える女性を保護する法案（婦人保護事業が「売春防止法」の枠組み）が、実態と制度との乖離を解消できていないことから、ハローワークや民間団体との連携強化をはかることの必要性を訴え、厚生労働大臣からは、現場の意見を丁寧に聞くとの答弁を受けました。

被保険者に適切な情報の提供を

全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律案に対し、後期高齢者に出産育児一時金の費用の一部を負担させるなどの内容が盛り込まれていることや、「かかりつけ医機能」について質問し、大臣は、従来から保険者機能の一部として被保険者に対し適正な医療提供情報を発信することから、かかりつけ医機能についても同様に発信すると答弁を得ました。

乳児院と児童養護施設は統合すべき

厚労省や文部省にまたがる子供に関する施策を一元化するため、新たに「こども家庭庁」が4月1日に設置されました。政府文章の中には「子供」「子ども」「こども」が入り混じるなど質疑に対する発言も意図が定かでない懸念があります。

乳児院と児童養護施設について、保護を必要とする乳児は乳児院に入所しますが、成長の過程で児童養護施設に代わり、各施設の対処がこどもの心身の発達に影響を与える懸念を指摘し、「統合すべき」と主張しました。政府はこの懸念を理解し特段の配慮をしていくと答えました。

「消費者教育の重要性」の文言が追加

消費者問題特別委員会での質疑では、まず、電気代の値上げについて、不正なカルテルなどのある電力会社へ健全な競争を促すために、審査プロセスを進めることについて見解を質しました。さらに、価格転嫁について、「消費者庁が消費者に価格転嫁への理解を呼び掛ける異例の取り組みを始める」との報道があったことから、事実関係と大臣のスタンスを確認しました。

カスタマーハラスメントについては、5年ぶりに変更された「消費者教育推進基本方針」の中に、「消費者自身が加害者となってしまう例もみられる中、消費者教育の重要性は高まっている」といった文言の追加が認められました。

安心して暮らせる社会づくりへ

2023全国高齢者集会　日本退職者連合

IKI・IKIライフクラブ会員36名が参加

日本退職者連合、連合などが共催し、2023年9月19日、文京シビックホールで全国高齢者集会が開催されました。全国の退職者連合組織から1300人の参加者が集い、UAゼンセンIKI・IKIライフクラブからは埼玉県支部、千葉県支部、神奈川県支部、東京都支部から36名が参加しました。

集会では、主催者を代表し人見日本退職者連合会長が「戦争に反対し平和と民主主義を守る。」「超少子高齢化社会が進む中、社会保障制度や高齢者へのサポート事業の改善は必要不可欠。すべての人が生き生きと安心して暮らせる社会を目ざしていく」などの挨拶を行いました。

この後、野田事務局長から「平和なくして長寿はない。安心して暮らせる社会保障制度を求め続ける」とする基調報告を受けた後、エイジレス・ライフ表彰伝達式が行われ、引き続き、寺島実郎日本総合研究所所長から、「世界の構造変化と日本の未来」と題した講演を受け、参加者達は「退職者連合というのは日本を変える起爆剤になってくるかもしれない」との言葉に意を強くしました。

なんでも相談ダイヤル

職場や家庭での悩みはありませんか？
税金の問題って誰に聞けばいいの？
近隣住民とのトラブル、相続、金銭問題
終活の準備って何をすればいいの？

経験豊かなアドバイザーがあなたに寄り添って相談をお受けします。何でもお気軽にお電話ください。

※相談の内容によっては、弁護士、税理士をご紹介いたします。（初回相談無料）

月 秋元かおる
火 矢鳴 浩一
水 齊藤 惠子
木 原 要次郎
金 島岡 由雄

0120-717-671（ナイナイ ムダナイケン）

相談時間
月曜日：13時～19時
火曜日～金曜日：11時～17時

※土・日・祝・UAゼンセンの休日は休みです。
※新型コロナウイルス感染拡大予防対策として、相談時間が変更になることもあります。

HP「エリアねっと」へアクセスしよう！

URL https://ikiikilifeclub.com

「会員だより」や県支部の諸活動を紹介中

″あなたのこだわり″を募集します

原稿字数は四百字以内で写真も添付して

ＩＫＩ・ＩＫＩライフクラブは、２０２３年９月12日に第４回全国代表者会議を開き、「集う」「楽しむ」「参画する」をコンセプトに諸活動の推進を掲げた２０２４年度活動計画を確認・決定しました。その重点活動として、会議や行事へ参加する裾野を広げるための方策として、ホームページ「エリアねっと」の周知を重点活動としました。今号では、「エリアねっと」へのアクセス方法と、会員だよりや都道府県支部の諸活動について掲載します。

ＩＫＩ・ＩＫＩライフクラブのHP検索を

ＩＫＩ・ＩＫＩライフクラブのホームページ（ＨＰ）は、ご家庭のパソコンやスマートフォン（スマホ）からご覧いただけます。

スマホからご覧になるには、「ＩＫＩ・ＩＫＩライフクラブ」あるいは「イキイキライフクラブ」などと打込み検索すると、ホームページにつながる表題が出てきます。

その表題を押すとホームページに入り、画面を下の方へスクロールすると「ＩＫＩ・ＩＫＩエリアねっと」欄になり、そこを押すと日本地図が出ますので都道府県を選択して下さい。なお、スマホで、本号１ページの題字にあるＱＲコードから簡単にアクセスできますので、ぜひ試してみてください。

ＩＫＩ・ＩＫＩライフクラブアドレス（URL）は、https://IKIlifeclub.comとなります。

「会員便り」を募集中

「エリアねっと」では、各都道府県支部の諸活動報告や会員の皆様の趣味、こだわりの取り組み、ボランティア活動、個々の思いなどを紹介する「会員便り」として募集しています。応募原稿の字数は四百字以内で収めてください。また、巻頭に氏名と所属県支部を記入してください。写真はご自身が写っているもの2～3枚をお送りください。

HPから「会員だより」の皆さん

筒井克巳さん（東京都支部）
四国88カ所お遍路の、区切りうちで徳島県内23か所を巡り、高知へのお遍路を目指します。

中平時裕さん（徳島県支部）
独学で始めた短歌歴十数年で応募者数千人のNHK短歌で上位入選をはたしました。

小塩　武さん（岡山県支部）
日展入選31回。現在、県の文化向上に向けて日洋展岡山支部長を務めています。

三重県支部発　食べて満腹 学んで見識　心躍らせました

IKI・IKIライフクラブ三重県支部は、11月15日㈬にOB会員と組織内議員を含め42名が参加し、「2023年度総会」を開催しました。

総会では、2024年度活動計画（案）」「役員の確認（案）」「第27回参議院議員選挙（比例代表）組織内候補者「田村まみ」参議院議員の推薦および菰野町議会議員選挙必勝決議（案）」の議案が全会一致で承認され、2024年10月に７期目の挑戦予定となる「内田ちかね」菰野町議会議員より決意表明を受けました。

総会後に開催したランチ交流会では旧知の仲間と思い出話に花を咲かせて懇親を深めるとともにカラオケ大会も開催されて会員自慢の美声が披露されるなど、参加者の笑顔あふれる一日となりました。

奈良県支部発　世界遺産で交流 平等院・宇治上神社　秋の日帰りツアー

IKI・IKIライフクラブ奈良県支部では、11月16日㈭に「秋の日帰りツアー」を開催し、会員の皆さんの交流を深めました。

参加者の日ごろの行いが良く、終日晴れて穏やかな過ごしやすい気候の中、参加者総勢11名で、宇治の平等院鳳凰堂や宇治上神社、宇治神社を参拝しました。

世界遺産でもある「鳳凰堂」でその名が知られる平等院は平安時代に全盛を誇った藤原頼通によって極楽浄土を再現したといわれ、1000年近い歴史を経てなお美しさが色褪せることなく、「初めて平等院鳳凰堂に参拝できてよかった」などの声が上がりました。また、宇治橋を渡り、同じく世界遺産である宇治上神社、宇治神社では、「少し紅葉を楽しめた」などお話ししながら、会員の皆様と交流を深めることができ、楽しく和やかなひと時を過ごしました。

茨城県支部発　温泉・湯葉堪能 日光社寺巡り　総会で意思統一

11月19日㈰、IKI・IKIライフクラブ茨城県支部の第４回定期総会を茨城県労働福祉会館で30名の会員が出席し開催しました。総会では2024年度活動計画などすべての議案を満場一致で可決・承認し次年度の活動に向けた意思統一を行いました。

総会終了後、20日㈪にかけて、参加者19名で世界遺産の日光の社寺を巡りました。

宿では、温泉と湯葉を中心とした食事を堪能し、日光東照宮ではガイドさんから、「日光の社寺」の建造物は、江戸時代には幕府によって定期的な修理が行われていましたが、時代時代の最高の技術をもって修理が行われ、江戸時代を通して最高の技術で保たれたとの詳しい説明を受け、また、途中酒蔵などに寄りながら、久しぶりに楽しい旅行を満喫しました。

岩手県支部発　ミュージカル観戦 酒蔵見学・渓谷散策　4年ぶり交流会

IKI・IKIライフクラブ岩手県支部は、10月21日㈯、新型コロナ禍が明けて４年ぶりに秋田方面へ会員17名の参加を得て、日帰りバス交流会を開催しました。

まず交流会では、古代の秋田を舞台にしたロマン溢れる青春群像で、現代にも通じる昔むかしの新しい物語として上演されたわらび座のミュージカル「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・アキタ」を観劇し、皆さん大いに感動しました。秋田で培われ320余年の歴史を受け継ぐ鈴木酒造で酒蔵を見学し、大吟醸秘蔵酒「秀よし」などの試飲もあり、大いに日本酒を堪能しました。

その後、小雨の中でしたが仙北市にある「抱返り渓谷」を散策し、楽しい時間を過ごし参加者間の交流を深め、再会を願い散会しました。

東京都支部発　第４回定期総会と「秋の散策」楽しむ　「田村まみ」支援を決議

IKI・IKIライフクラブ東京都支部では11月９日㈭、26名の会員参加のもと、第４回定期総会を開催するとともに、総会終了後には、立川市の「国営昭和記念公園」で「秋の散策」を行いました。

総会では、2023年の活動報告及び2024年の活動計画を確認し、また、2025年予定の参議院議員選挙における「田村まみ」組織内候補への支援取り組みを確認しました。総会終了後の「秋の散策」では総面積180㌶に及ぶ国営昭和記念公園での散策と昭和天皇記念館を見学し秋空の下でひと時を過ごし、懇親会では出席が叶わなかった皆さんからの近況報告を披露。中には100歳を迎えた会員からの元気なメッセージもあり会場に大きな歓声が沸きました。加えて、秋の叙勲を受章された会員に参加者全員で祝意を送りました。その後、千言万語を費やしても表現し得ない懇親会を楽しみました。

富山県支部発　３年ぶりの宿泊で三次会まで親交深める　定期総会を開催

IKI・IKIライフクラブ富山県支部は、11月13日㈪、神通峡春日温泉「ゆ～とりあ越中」で会員19名が参加し「第４回定期総会」を開催しました。総会では、「2023年度活動報告・会計報告」を承認した後、「会員現勢報告」「2024年度活動計画（案）」「富山県支部役員」について確認しました。

当日総会前に予定していた「パークゴルフ交流会」は残念な悪天候と熊出没の可能性があることから、やむなく中止となってしまいましたが、５月に新型コロナ感染症法上の２類相当から５類に変更されたことにより、３年ぶりの宿泊開催となりました。参加者の皆さんはゆっくり温泉につかり体をほぐし、一次会での「大抽選大会」、二次会での「カラオケ大会」、三次会（？）まで、さらなる旧交を温め親睦を深めました。

IKI・IKIライフクラブに集う　旧「友の会」会員の皆様に大切なお知らせです

旧「友の会」会員とＵＡゼンセン,その他の寄付金を基金として設けられた記念品・見舞金は、下記の通りに変更となりましたので、ご留意ください。

各種制度が変更されました

種　類	適用区分	贈呈内容	備　考
長　寿記念品	77歳（喜寿）の会員	5,000円相当	2032年まで継続し、以降廃止。
長　寿記念品	88歳（米寿）、99歳（白寿）の会員	各10,000円相当	▶88歳（米寿）は、2024年以降は半額相当とし、2031年まで継続し、以降廃止。▶99歳（白寿）は、2023年末で終了しました。
~~介　護見舞金Ⅰ~~	~~会員が要介護３以上の認定を受け、在宅で介護を受ける状態となった時~~	~~20,000円~~	介護見舞金制度は、2023年８月末で終了となりました。
~~介　護見舞金Ⅱ~~	~~会員が要介護３以上の認定を受け、入院、入所中の状態になった時~~	~~10,000円~~	
~~介　護見舞金Ⅲ~~	~~会員が要介護３以上の認定を受けた同居家族を在宅で、常時介護する状態になった時~~	~~10,000円~~	

ＵＡゼンセン見舞金共済制度は引き続き受けられます

この制度の規約は、旧「友の会」会員と会員の配偶者の死亡、住宅の被災が対象となり、下記のように定められています。

見舞金の給付申請手続き

会　員	申請手続き	事　項
１．UAゼンセンの組合員 ２．UAゼンセンの顧問・名誉組合員 ３．UAゼンセン旧「友の会」会員	１．申請書に必要事項を記入し、UAゼンセン会長宛に申請する ２．旧「友の会」会員は出身組合または、UAゼンセンの都道府県支部を経由して申請する	給付の申請は、90日以内に行われなければ請求権を失う。ただし、やむを得ない場合は、さらに90日の延長を認めることができる。この場合、遅延理由書を添付すること。

死亡・住宅被災見舞金の内容

給付適用区分			給付金額	申請時の必要書類
会員死亡			20,000円	会葬御礼はがき（コピー不可）や死亡診断書
配偶者死亡（事実上の婚姻関係含む）			10,000円	死亡診断書と婚姻関係を証明できるものなど
住宅被災	会員が居住している住宅	全焼・焼失・全損	50,000円	罹災証明書
住宅被災	会員が居住している住宅	半壊・半損・床上浸水	25,000円	罹災証明書

※申請期限は、事由が発生して90日以内です。ただし、やむを得ない場合は、遅延理由書を添付すれば180日以内となります。

UAゼンセンIKI・IKIライフクラブ　本部事務局へのお問い合わせ先

〒102-8273　東京都千代田区九段南４-８-16　UAゼンセン生活応援事務局内　TEL：03-3288-3598
E－mail：ikiiki@uazensen.jp　URL：https://ikiikilifeclub.com　FAX：03-3288-7174

UAゼンセンIKI・IKIライフクラブ　都道府県支部へのお問い合わせ先

北海道支部	TEL 011-641-0504	山形県支部	TEL 023-631-3439	埼玉県支部	TEL 048-711-2022
青森県支部	TEL 017-722-7514	福島県支部	TEL 024-521-3111	千葉県支部	TEL 043-247-3226
岩手県支部	TEL 019-624-0508	茨城県支部	TEL 029-227-2962	東京都支部	TEL 03-5418-4520
宮城県支部	TEL 022-222-7381	栃木県支部	TEL 028-650-5450	山梨県支部	TEL 055-254-1135
秋田県支部	TEL 018-836-5100	群馬県支部	TEL 027-261-6823	神奈川県支部	TEL 045-774-3013
新潟県支部	TEL 025-278-7196	大阪府支部	TEL 06-6323-1215	高知県支部	TEL 088-821-0165
富山県支部	TEL 076-441-4196	兵庫県支部	TEL 078-371-3281	愛媛県支部	TEL 089-947-2214
石川県支部	TEL 076-242-7235	奈良県支部	TEL 0742-35-3045	福岡県支部	TEL 092-731-6151
福井県支部	TEL 0776-28-2334	和歌山県支部	TEL 073-422-2524	佐賀県支部	TEL 0952-37-5485
長野県支部	TEL 026-224-0256	鳥取県支部	TEL 0857-29-2246	長崎県支部	TEL 0957-24-1579
岐阜県支部	TEL 058-265-7556	島根県支部	TEL 0852-27-4119	熊本県支部	TEL 096-285-9207
静岡県支部	TEL 054-252-3620	岡山県支部	TEL 086-224-7227	大分県支部	TEL 097-573-7123
愛知県支部	TEL 052-321-8591	広島県支部	TEL 082-568-8336	宮崎県支部	TEL 0985-20-7557
三重県支部	TEL 059-226-6363	山口県支部	TEL 0834-21-2244	鹿児島県支部	TEL 099-257-1106
滋賀県支部	TEL 077-522-4467	徳島県支部	TEL 088-653-4749	沖縄県支部	TEL 098-879-8673
京都府支部	TEL 075-801-4091	香川県支部	TEL 087-822-4860		